

- みずほ銀行は、気候変動が最も重要なグローバル課題の1つであるとの認識のもと、気候変動への対応を経営戦略における重要課題として位置づけ、自らの事業活動におけるGHG（温室効果ガス）排出量の2030年度カーボンニュートラルを目標とし、取り組みを強化しています。
- 本計画においては、全国の複数の店舗・事務所において、照明設備を更新しLEDを導入することで炭素生産性向上を図ります。

1. 事業適応計画の実施期間

2022年12月～2025年3月

2. 生産性向上目標

みずほ銀行全体の炭素生産性を208.6%以上向上させる。

3. 前向きな取組の内容

GHG排出量の約8割を占める国内における電気使用に伴う排出削減に向け、再生可能エネルギー由来の電気への切替や、コーポレートPPAの導入などを進めるとともに、全国の複数の店舗・事務所において、照明設備のLED化を進め、炭素生産性を向上させる。

4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

<取組の内容のイメージ>



<計画対象拠点の一例>